

韓国人はいつ한복(韓服)を着るの?

太宰府市国際交流員 金辛沄

日本では伝統的な衣装といえば、着物がその代表的な存在ですが、韓国にも「한복(韓服)」という伝統的な衣装があります。しかし、韓国人が日常生活の中で韓服を着ることは非常に稀であり、主に特別な行事や儀式の際にのみその姿を見ることが出来ます。

韓服を着るのは、主に結婚式や新年の挨拶、祖先を敬う「祭祀」などの伝統的な行事です。特に韓国の「설날(旧正月)」や「추석(秋夕)」のような重要な祝祭日には、多くの人々が家族や親戚との集まりに向けて韓服を着用します。これらの行事では、伝統を守る意味で韓服を着ることが一般的です。

また、韓国の結婚式でも韓服は重要な役割を果たします。披露宴で新郎新婦が韓服を着るのはもちろん、結婚式に出席する親族も伝統的な服装を選ぶことが多いです。さらに、子どもの初めての誕生日(돌잔치)などの祝典でも韓服を着ることがあります。



韓服

日常ではほとんど着ることのない韓服ですが、特別な日にはその意味を再確認し、文化的なアイデンティティを次の世代にしっかりと伝えていこうとする意識が感じられます。

季節の生け花

太宰府市華道連盟



もとやま すみこ
本山 晴子 新池坊

花材：柳、小菊



太宰府短歌会

騒ぎつつ進めば何も怖くない
太鼓叩いて雷渡る

福岡市／竹森 祐彦

しゃがみこみ外階段でたばこ吸ふ
をのがこひとり寒き夕べに

糟屋郡／仲道 朋子

壇ノ浦に平家を偲び秋晴れの
煌く海に心安らぐ

東ヶ丘／西木 ミヤ子

屋根瓦の瓦の形に猫眠り
われは熱き茶をする菊日和

大佐野台／宮崎 フミ

苔寺の苔のみどりに横たふて
終迎へたし紅葉のごとく

湯の谷／山崎 八重子

太宰府俳句会

持永 真理子 選

気遣ひの嘘少し言ふ寒さかな

星ヶ丘／柴田 慧美子

果されぬ約束となり悔い寒し

東観世／中島 祝乃

飛梅句会

介弘 紀子 選

噫して次にすること忘れをり

朝倉市／味酒 ふじ子

河豚刺や花びら綺羅と皿に散る

青葉台／本山 晴子

年の暮忙中閑の茶の誘ひ

向佐野／内田 典子

鰯酒や長州歴史聞く旅路

星ヶ丘／江里口 幸生

買ひ過ぎて買ひ忘れあり年の暮

高雄台／川路 泰子

宝満句会

菅井 久美子 選

凍空や山巖深めゆく早さ

青葉台／平野 香

冬天を突き朝練の声響く

福岡市／工藤 友子

初雪や槍一条の滑空す

観世音寺／野田 杉子

まっさらな初雪の道吾の一步

長浦台／徳賀 美智子

都久志てんじん句会

佐々木 甘露子 選

偶然と必然いかに冬の涛

福岡市／塩飽 たかこ

冬の月父情を知らぬ娘の上に

福岡市／北川 朴洋子

手放した物の大小年の暮

小都市／貞金 志帆

寒の水米ひと粒も流すまじ

福岡市／宮津 英里子

ほろ酔いの月影と踏み霜柱

青葉台／彦坂 正子

太宰府川柳倶楽部

小池 一恵 選

老いてなおますます元氣嫌われる

五条／安枝 昭雄

客筋の加齢にたたむ美容院

松川／山根 清

ゆつくりの歩調に合やす介護の手

二日市／吉田 敬子

厄介な話を置いて客帰る

水城ヶ丘／植村 克志

中洲にも屋台にもあるマイボトル

福岡市／迎 あゆ子